

慶大
医療セミナー
第3弾!

参加高校生募集!

ペニシリンの発見に始まる抗生物質の開発は、
多くの人々の命を救ってきました。しかし、
抗生物質を使いつづけると出現する耐性菌感染が社会問題化しています。

この耐性菌の制御に携わってきた慶應義塾大学医学部感染症学教室の
岩田敏教授が2017年3月、医師を目指す高校生を対象にした特別セミナーを行います。
耐性菌を実際に観察し、感染症制圧への挑戦を学ぶセミナーです。

セミナー後は、臨床実習に進む同大医学部新5年生への白衣式も見学します。
読売教育ネットワーク参加校の高校生で、医学を強く志す8人を募集します。

慶應義塾大学医学部 岩田敏 教授 特別講義

今どうなっている? 感染症制御の 最前線

耐性菌制圧への挑戦

参加高校生へのメッセージ

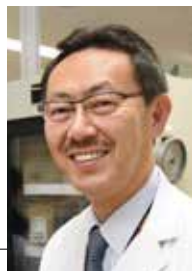
感染症診療は、診断法、治療法、予防法の発展により大きく進歩し、感染症の予後は目覚ましく改善してきました。しかしその一方で、新しい治療法により免疫状態の低下した患者さんは増加し、抗生物質の使用は様々な耐性菌を生み出しています。また人が自然界に奥深く立ち入り、野生動物等と接触することで、これまで見られなかったような新しい感染症が発生し、発達した交通網に乗って、世界中に広がるというリスクも増大しています。

このような変貌する現代の感染症に対して、私たちはどのように対応していったら良いか、皆さんと一緒に考えてみましょう。

岩田 敏

いわた さとし

1952年生まれ、神奈川県出身。慶應義塾大学医学部を卒業後、小児科医として子供たちの診療と保健予防に従事。2010年より慶應義塾大学感染制御センター/感染症学教室教授、2013年より日本感染症学会理事長。



日時

2017年 3月 25日(土)

11:15～12:00 感染症学研究室 見学
12:00～13:30 岩田敏教授 特別講義
14:00～15:30 白衣式見学

場所

慶應義塾大学医学部信濃町キャンパス
(東京都新宿区)

定員

8人(1校につき1人)
読売教育ネットワーク参加校の高校生
で、医師を目指す生徒

【応募方法】

参加希望者のいる学校は、下記の必要事項を添えて事務局までメールでお申し込みください。

件名：「慶應大学医学部セミナー申込」
①学校名
②担当教諭名、電話番号、メールアドレス
③参加希望生徒名と学年

応募締め切りは2017年 2月 25日(土)

参加人数は1校1名。応募多数の場合は抽選。結果は事務局から連絡します。希望者が複数いる学校は、学校代表1名の選考をお願いします。

【参加確定8校へのお願い】

参加が決まった生徒は、課題文の提出をお願いします。(岩田教授に読んでいただきます)

課題文：医師を目指す動機(400文字以内)

件名を「慶應大学課題文」と記入の上、3月4日(金)までに事務局宛にメール添付で送付してください。また、下記資料などを読み、薬剤耐性(AMR)について勉強して講義に参加してください。

「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン 2016-2020」
http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokusai_kansen/pdf/yakuzai_honbun.pdf

問い合わせ

読売教育ネットワーク事務局 ☎03-3217-1967 メール: ednet@yomiuri.com

※慶應義塾大学医学部への連絡はご遠慮ください。 ※セミナーの記事と写真は、読売新聞や読売教育ネットワークのウェブサイトに掲載されます。